

添付文書改訂のお知らせ

添付文書改訂連絡 11-30
2011年10月
M S D 株 式 会 社

管理医療機器、機械器具(74)医薬品注入器
医薬品ペン型注入器、JMDNコード：70391000

フォリスチムペン[®]

このたび、標記製品につきまして適用する医薬品（フォリスチム[®]注カートリッジ）として900IUカートリッジが承認されました。また、使用する注射針として、従来の「BDマイクロファインプラス29G-F」に加え、「BDマイクロファインプラス[™]（31G）」もご使用いただけることとなりました。

これに伴い、「禁忌・禁止」「形状・構造及び原理等」「使用目的、効能又は効果」「操作方法又は使用方法等」「使用上の注意」「貯蔵・保管方法及び使用期間等」を自主改訂致します。今後、該当製品のご使用に際しましては、新しい添付文書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

《改訂項目》

- ・【禁忌・禁止】
- ・【形状・構造及び原理等】
- ・【使用目的、効能又は効果】
- ・【操作方法又は使用方法等】
- ・【使用上の注意】
 - ・〈重要な基本的注意〉
 - ・〈相互作用〉
- ・【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
 - ・〈保管方法〉

《改訂内容》

フォリスチムペン®

改訂後

改訂前

【禁忌・禁止】

- ・本品をフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジの注射以外の目的に使用しないこと。
- ・本品及び注射針を複数の患者に使用しないこと。[感染症の原因となるおそれがある。]
- ・注射の都度、新しい注射針を使用すること。

以下略（変更なし）

【形状・構造及び原理等】

本品は図に示すように、保護キャップ、カートリッジホルダー、及び本体からなるフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジ（カートリッジ型フォリトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液）専用のペン型注入器である。本品は、フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針であるBDマイクロファインプラス™（31G）（以後、BDマイクロファインプラス™31Gと記載する。）を取り付けて使用する。

*BDマイクロファインプラス29G-F又はBDマイクロファインプラス™31Gは、以降専用注射針と表記する。

*BDマイクロファインプラス™31Gは針先の長さが5 mm及び8 mmのものがある。

フォリスチムペン®の各部の名称

図（保護キャップ、カートリッジホルダー、本体）略（変更なし）

《動作原理》

ダイヤルを回転させて注射量を設定し、注入ボタンを押すと、ピストン棒が前方に移動し、装着したフォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジのゴムピストンを前進させることにより取り付けた針先から注射液が排出される。本品は、25IUから450IUまで25IU刻みで注射量を設定できる。

カートリッジ製剤	1回に設定可能な注射量 [IU]	1回に投与する注射量 [IU]	注射量の増減単位 [IU]
フォリスチム® <u>注</u> カートリッジ	25～450	50～450	25

注意：本品にはフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジ並びに注射針は付属していない。

【禁忌・禁止】

- ・本品をフォリスチム注300IU及び同注600IUカートリッジの注射以外の目的に使用しないこと。
- ・本品及び専用注射針を複数の患者に使用しないこと。[感染症の原因となるおそれがある。]
- ・注射の都度、新しい専用注射針を使用すること。

以下略

【形状・構造及び原理等】

本品は図に示すように、保護キャップ、カートリッジホルダー、及び本体からなるフォリスチム注300IU及び同注600IUカートリッジ（カートリッジ型フォリトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液）専用のペン型注入器である。本品は、フォリスチム注300IU又は同注600IUカートリッジにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針であるBDマイクロファインプラス29G-Fを取り付けて使用する。

*BDマイクロファインプラス29G-Fは、以降専用注射針と表記する。

←追記

フォリスチムペンの各部の名称

図（保護キャップ、カートリッジホルダー、本体）略

《動作原理》

ダイヤルを回転させて注射量を設定し、注入ボタンを押すと、ピストン棒が前方に移動し、装着したフォリスチム注300IU又は同注600IUカートリッジのゴムピストンを前進させることにより取り付けた針先から注射液が排出される。本品は、25IUから450IUまで25IU刻みで注射量を設定できる。

カートリッジ製剤	1回に設定可能な注射量 [IU]	1回に投与する注射量 [IU]	注射量の増減単位 [IU]
フォリスチム <u>注</u> カートリッジ	25～450	50～450	25

注意：本品にはフォリスチム注300IU及び同注600IUカートリッジ並びに専用注射針は付属していない。

(_____ 部：自主改訂、 ~~~~~ 部：削除)

改 訂 後	改 訂 前
【使用目的、効能又は効果】 本品は、専用医薬品カートリッジ及びペン型注入器用注射針を取り付けて使用し、皮下又は筋肉内へ医薬品を注入するペン型注入器である。専用カートリッジは、下記フォロトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液である。 販 売 名：フォリスチム®<u>注300IUカートリッジ</u> フォリスチム®<u>注600IUカートリッジ</u> フォリスチム®<u>注900IUカートリッジ</u> 製造販売元：MSD株式会社 【操作方法又は使用方法等】 ・詳細については本品の取扱説明書を必ず参照すること。また、フォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>及び<u>同注900IU</u>カートリッジの添付文書も併せてよく読んでおくこと。 1. フォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>又は<u>同注900IU</u>カートリッジの取り付け 1) 保護キャップ及びカートリッジホルダーを本体から取り外す。 2) フォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>又は<u>同注900IU</u>カートリッジをパッケージから取り出し、カートリッジのゴム製インレイをアルコール綿で消毒してから、カートリッジホルダーの中にカートリッジを入れる。 3) 略 （変更なし） 2. 注射針の取り付け 1) フォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>又は<u>同注900IU</u>カートリッジの入っているカートリッジホルダーの先端部をアルコール綿で清拭する。 2) 注射針の保護シールを剥がす。 3) 略 （変更なし） 3. 略 （変更なし） 4. 使用前の空気抜き 1) 注射針の針ケースと針キャップを取り外す。 2)、3) 略 （変更なし） 注意：略 （変更なし） 5. 略 （変更なし） 6. 注射の実施 1) 注射部位を2本の指で軽くよせ、垂直に針を刺す。なお、BDマイクロファインプラス™31Gの針先の長さが<u>5mmの注射針を使用する場合は、皮膚をつままず注射針を根元までまっすぐに刺すこと。</u> 2) 針を刺したら注入ボタンを最後まで押し切り、ダイヤルがゼロになっていることを確認し、少なくとも<u>10秒</u>間待ち、針を抜く。 3) 略 （変更なし） 7. 注射針の取り外し 1) フォリスチムペン®に付いている針へ針ケースを<u>まっすぐに取り付ける。</u>（針キャップはかぶせないこと。） 2) 略 （変更なし） 8. 空のフォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>又は<u>同注900IU</u>カートリッジの取り外し 1) 略 （変更なし） 2) 空のフォリスチム®<u>注300IU</u>、<u>同注600IU</u>又は<u>同注900IU</u>カートリッジをカートリッジホルダーから取り出す。 注意：略 （変更なし）	【使用目的、効能又は効果】 本品は、専用医薬品カートリッジ及びペン型注入器用注射針を取り付けて使用し、皮下又は筋肉内へ医薬品を注入するペン型注入器である。専用カートリッジは、下記フォロトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液である。 販 売 名：フォリスチム®<u>注300IUカートリッジ</u> フォリスチム®<u>注600IUカートリッジ</u> 製造販売元：MSD株式会社 【操作方法又は使用方法等】 ・詳細については本品の取扱説明書を必ず参照すること。また、フォリスチム®<u>注300IU</u>及び<u>同注600IU</u>カートリッジの添付文書も併せてよく読んでおくこと。 1. フォリスチム®<u>注300IU</u>又は<u>同注600IU</u>カートリッジの取り付け 1) 保護キャップ及びカートリッジホルダーを本体から取り外す。 2) フォリスチム®<u>注300IU</u>又は<u>同注600IU</u>カートリッジをパッケージから取り出し、カートリッジのゴム製インレイをアルコール綿で消毒してから、カートリッジホルダーの中にカートリッジを入れる。 3) 略 2. 専用注射針の取り付け 1) フォリスチム®<u>注300IU</u>又は<u>同注600IU</u>カートリッジの入っているカートリッジホルダーの先端部をアルコール綿で清拭する。 2) <u>専用注射針</u>の保護シールを剥がす。 3) 略 3. 略 4. 使用前の空気抜き 1) <u>専用注射針</u>の針ケースと針キャップを取り外す。 2)、3) 略 注意：略 5. 略 6. 注射の実施 1) 注射部位を2本の指で軽くよせ、垂直に針を刺す。 2) 針を刺したら注入ボタンを最後まで押し切り、ダイヤルがゼロになっていることを確認し、少なくとも<u>5秒</u>間待ち、針を抜く。 3) 略 7. <u>専用注射針の取り外し</u> 1) <u>開口部を上にして平らなテーブルの上に針ケースを置き、フォリスチムペン®に付いている針を針ケース開口部の中に入れ、強く押し込む。</u>（針キャップはかぶせないこと。） 2) 略 8. 空のフォリスチム®<u>注300IU</u>又は<u>同注600IU</u>カートリッジの取り外し 1) 略 2) 空のフォリスチム®<u>注300IU</u>又は<u>同注600IU</u>カートリッジをカートリッジホルダーから取り出す。 注意：略

(_____ 部：自主改訂、~~~~~ 部：削除)

改 訂 後	改 訂 前
【使用上の注意】 〈重要な基本的注意〉 1) 使用時の全般的注意 ・必ず本品の取扱説明書並びに<u>フォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IU</u>カートリッジの添付文書を読むこと。 ・使用する際は、必ず石鹸で手を洗淨すること。 ・<u>フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IU</u>カートリッジに浮遊物が見られた場合、又は薬液が透明でない場合には、そのカートリッジは使用しないこと。 ・注射針の保護シールが破損している場合は使用しないこと。 ・本品を操作するときは針先を人のいる方向に向けないこと。また、針刺しに十分注意すること。 ・注射の都度、新しい注射針を使用すること。再使用しないこと。 以下略（変更なし） 2) 略（変更なし） 〈相互作用〉（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること） ・併用注意 本品は<u>フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IU</u>カートリッジ並びにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針との組み合わせで使用すること。 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】 〈保管方法〉 ・必ず注射針を取り外し、注入ボタンを完全に押し切り、保護キャップをかぶせ、保管用ペンケースに入れて保管すること。 ・清潔な場所に保管すること。 ・小児の手の届かない場所に保管すること。 ・使用中の本品（<u>フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IU</u>カートリッジを取り付けたもの）は、冷蔵庫内又は室温の安全な場所に保管すること。また、以下の場所での保管は避けること。[故障の原因となる。] (1)～(3) 略（変更なし） ・注射針を取り付けたまま保管しないこと。[薬液の汚染、液漏れ、空気の混入の原因となる。]	【使用上の注意】 〈重要な基本的注意〉 1) 使用時の全般的注意 ・必ず本品の取扱説明書及び<u>フォリスチム注300IU及び同注600IU</u>カートリッジの添付文書を読むこと。 ・使用する際は、必ず石鹸で手を洗淨すること。 ・<u>フォリスチム注300IU又は同注600IU</u>カートリッジに浮遊物が見られた場合、又は薬液が透明でない場合には、そのカートリッジは使用しないこと。 ・専用注射針の保護シールが破損している場合は使用しないこと。 ・本品を操作するときは針先を人のいる方向に向けないこと。また、針刺しに十分注意すること。 ・注射の都度、新しい<u>専用</u>注射針を使用すること。再使用しないこと。 以下略 2) 略 〈相互作用〉（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること） ・併用注意 本品は<u>フォリスチム注300IU及び同注600IU</u>カートリッジ並びにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針との組み合わせで使用すること。 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】 〈保管方法〉 ・必ず<u>専用</u>注射針を取り外し、注入ボタンを完全に押し切り、保護キャップをかぶせ、保管用ペンケースに入れて保管すること。 ・清潔な場所に保管すること。 ・小児の手の届かない場所に保管すること。 ・使用中の本品（<u>フォリスチム注300IU又は同注600IU</u>カートリッジを取り付けたもの）は、冷蔵庫内又は室温の安全な場所に保管すること。また、以下の場所での保管は避けること。[故障の原因となる。] (1)～(3) 略 ・<u>専用</u>注射針を取り付けたまま保管しないこと。[薬液の汚染、液漏れ、空気の混入の原因となる。]

(_____ 部：自主改訂、 ~~~~~ 部：削除)

《改訂理由》

・自主改訂

【禁忌・禁止】

【形状・構造及び原理等】

【使用目的、効能又は効果】

【操作方法又は使用方法等】

【使用上の注意】〈重要な基本的注意〉〈相互作用〉

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】〈保管方法〉

弊社は、遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン製剤「フォリスチム®注カートリッジ（フォリトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液）」につきまして、従来の300IUカートリッジ及び600IUカートリッジに加え、2011年6月に900IUカートリッジの医薬品製造販売承認を取得致しました。

これに伴い、フォリスチムペン®に適用する医薬品について、フォリスチム®注300IU、同注600IUカートリッジに同注900IUカートリッジを追記致しました。

また、従来フォリスチムペン®専用注射針としてご使用いただいていた「BDマイクロファインプラス29G-F」（製造販売認証：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社）に加え、新しく、既にイ

ンスリン自己注射に広く使用されています注射針「BDマイクロファインプラス™ (31G)」(製造販売認証：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)につきましても、安全に使用していただけることが確認されました。

これに伴い、添付文書中の注射針の記載を「専用注射針」から「注射針」に変更致しました。(JIS T 3226-1医療用ペン型注入器の規定により「A型の専用注射針」と記載する箇所を除く。)

【操作方法又は使用方法等】

フォリスチムペン®に使用する注射針として「BDマイクロファインプラス29G-F」に加え、「BDマイクロファインプラス™ (31G)」もご使用いただけることから、【操作方法又は使用方法等】の「6. 注射の実施」及び「7. 注射針の取り外し」の記載を変更致しました。

6. 注射の実施

「BDマイクロファインプラス™ (31G)」は、注射針の長さが8 mmの製品及び5 mmの製品があります。

「BDマイクロファインプラス™ (31G)」の8 mmの注射針をご使用の際には、「BDマイクロファインプラス29G-F」を取り付けて使用する場合と同様に、注射部位の皮膚をつまんでから注射を実施してください。

ただし、「BDマイクロファインプラス™ (31G)」の短い5 mmの注射針をご使用の際には、注射部位の皮膚をつままず、注射針を根元までまっすぐ刺すようにしてください。5 mmの注射針を用いて注射する際に皮膚をつまんで注射すると、薬液が皮下に注入されない場合があります。

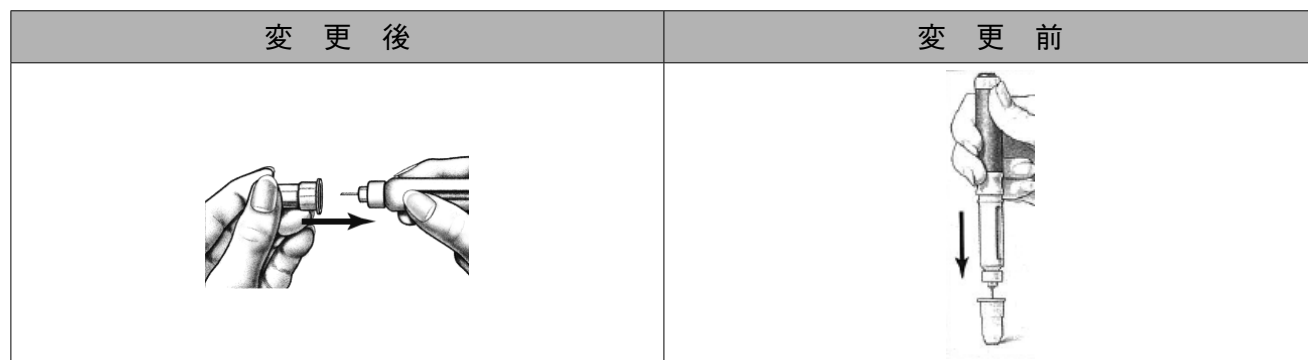
また、注射液注入後、注射部位に注射針を保持していただく時間は、従来「5秒間」としておりましたが、注射液の注入を完全にするため、今後は「10秒間」保持していただくようお願い致します。特に8 mm以下の長さの注射針を使用する場合には、すぐに注射針を除去すると、注射部位から注射液の液漏れが生じるリスクが高くなりますのでご注意ください。

7. 注射針の取り外し

従来「BDマイクロファインプラス29G-F」をご使用の際は、注射針を取り外すとき、針ケースをテーブルの上に置いて、垂直方向に差し込むようお願いをしておりました。

しかしながら、「BDマイクロファインプラス™ (31G)」の針ケースは形状が異なるため、テーブルの上に安定に置くことはできません。このため、「BDマイクロファインプラス29G-F」についても「BDマイクロファインプラス™ (31G)」で行われている取り外し方法の記載に統一しました。変更後の取り外し方は下図をご参照ください。

なお、「BDマイクロファインプラス29G-F」をご使用の際は、従来どおりの方法で注射針を取り外していただいても差し支えありません。



本製品のご使用に際しましては、添付文書をご参照いただきますようお願い致します。

また、患者様へは、製品に添付の取扱説明書を必ずご参照いただきますよう、ご指導をお願い致します。

医療機器添付文書情報は独立行政法人 医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) に最新添付文書が掲載されています。あわせてご利用ください。

フォリスチムペン®添付文書抜粋 (※※2011年9月改訂)

※※【禁忌・禁止】

- ・本品をフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジの注射以外の目的に使用しないこと。
- ・本品及び注射針を複数の患者に使用しないこと。[感染症の原因となるおそれがある。]
- ・注射の都度、新しい注射針を使用すること。
- ・破損した本品は使用しないこと。
- ・本品を分解、改造又は加工しないこと。

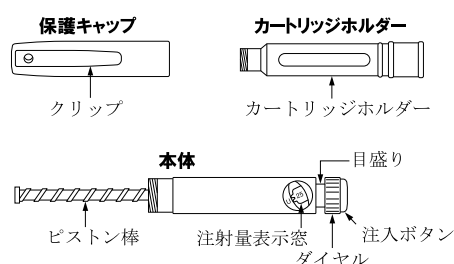
※※【形状・構造及び原理等】

本品は図に示すように、保護キャップ、カートリッジホルダー、及び本体からなるフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジ（カートリッジ型フォリトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液）専用のペン型注入器である。本品は、フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針であるBDマイクロファインプラス29G-F又はBDマイクロファインプラス™（31G）（以後、BDマイクロファインプラス™31Gと記載する。）を取り付けて使用する。

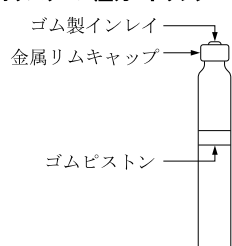
※BDマイクロファインプラス29G-F又はBDマイクロファインプラス™31Gは、以降注射針と表記する。

※BDマイクロファインプラス™31Gは針先の長さが5mm及び8mmのものがある。

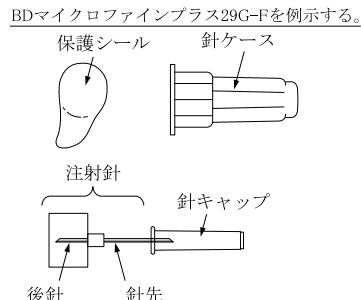
フォリスチムペン®の各部の名称



フォリスチム®注カートリッジ



注射針



〈動作原理〉

ダイヤルを回転させて注射量を設定し、注入ボタンを押すと、ピストン棒が前方に移動し、装着したフォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジのゴムピストンを前進させることにより取り付けした針先から注射液が排出される。本品は、25IUから450IUまで25IU刻みで注射量を設定できる。

カートリッジ製剤	1回に設定可能な注射量 [IU]	1回に投与する注射量 [IU]	注射量の増減単位 [IU]
フォリスチム®注カートリッジ	25～450	50～450	25

注意：本品にはフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジ並びに注射針は付属していない。

※※【使用目的、効能又は効果】

本品は、専用医薬品カートリッジ及びペン型注入器用注射針を取り付けて使用し、皮下又は筋肉内へ医薬品を注入するペン型注入器である。専用カートリッジは、下記フォリトロピンベータ（遺伝子組換え）注射液である。

販 売 名：フォリスチム®注300IUカートリッジ
フォリスチム®注600IUカートリッジ
フォリスチム®注900IUカートリッジ

製造販売元：MSD株式会社

※※【操作方法又は使用方法等】

・詳細については本品の取扱説明書を必ず参照すること。また、フォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジの添付文書も併せてよく読んでおくこと。

1. フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジの取り付け

- 1) 保護キャップ及びカートリッジホルダーを本体から取り外す。
- 2) フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジをパッケージから取り出し、カートリッジのゴム製インレイをアルコール綿で消毒してから、カートリッジホルダーの中にカートリッジを入れる。
- 3) ペン本体を手にとり、カートリッジホルダーに差し込み、ペン本体を回しながらカートリッジホルダーにしっかりとセットする。ペン本体とカートリッジホルダーとの間に隙間がないことを、また、カートリッジホルダー側の三角印（▲）が、紺色のペン本体側の黄色い位置マーク（■）の中央にきていることを確認すること。

2. 注射針の取り付け

- 1) フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジの入っているカートリッジホルダーの先端部をアルコール綿で清拭する。
- 2) 注射針の保護シールを剥がす。
- 3) 片手で針ケースを、もう片方の手でカートリッジホルダーをしっかりと持って、カートリッジホルダーの先端に針ケースごとまっすぐ奥まで差し込み、止まるまで時計回りに回して確実に取り付ける。

3. 注射部位の準備

- 1) アルコール綿で注射部位の皮膚を拭き、皮膚表面を消毒する。針を刺す部分の周囲約5cmの範囲を消毒する。皮膚表面のアルコールが乾くまで1分以上待ってから注射を行うこと。

4. 使用前の空気抜き

- 1) 注射針の針ケースと針キャップを取り外す。
- 2) 針先を上に向けてフォリスチムペン®を持ち、気泡が針の先端に上がってくるようにカートリッジホルダーを指で静かに叩く。
- 3) 針先から薬液が見えるまで、以下の手順を繰り返す。
 - (1) カチッと1回音がするまでダイヤルを回す。
 - (2) 針先を上に向けたままで、注入ボタンを押す。

注意：注射の度に必ず空気抜きを行い、液が出ることを確認すること。

5. 注射量の設定

- 1) ダイヤルを回し、設定したい注射量の横の●が注射量表示窓の中央にくるようにして注射量を設定する。
- 2) ダイヤルを回し過ぎた場合は、ダイヤルを回しきりダイヤルが自由に回転する状態になったことを確認してから、注入ボタンを完全に押し切って、再度注射量を設定すること。（なお、このとき薬液は排出されない。）

6. 注射の実施 1) 注射部位を2本の指で軽くよせ、垂直に針を刺す。<u>なお、BDマイクロファインプラス™31Gの針先の長さが5mmの注射針を使用する場合は、皮膚をつままず注射針を根元までまっすぐに刺すこと。</u> 2) 針を刺したら注入ボタンを最後まで押し切り、ダイヤルがゼロになっていることを確認し、少なくとも<u>10秒間</u>待ち、針を抜く。 3) 注射後は、消毒用アルコール綿で注射部位を押さえる。 7. 注射針の取り外し 1) フォリスチムペン®に付いている針へ針ケースを<u>まっすぐに</u>に取り付ける。(針キャップはかぶせないこと。) 2) 針ケースを回し、針をカートリッジホルダーから外す。 8. 空のフォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジの取り外し 1) ペン本体を回して、カートリッジホルダーからペン本体を取り外す。 2) 空のフォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジをカートリッジホルダーから取り出す。 注意：取り外した使用済み注射針及び空のカートリッジは、安全かつ適切に処理すること。 ※※【使用上の注意】 〈重要な基本的注意〉 1) 使用時の全般的注意 ・必ず本品の取扱説明書並びにフォリスチム®注300IU、同注600IU及び同注900IUカートリッジの添付文書を読むこと。 ・使用する際は、必ず石鹸で手を洗淨すること。 ・フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジに浮遊物が見られた場合、又は薬液が透明でない場合には、そのカートリッジは使用しないこと。 ・注射針の保護シールが破損している場合は使用しないこと。 ・本品を操作するときは針先を人のいる方向に向けないこと。また、針刺しに十分注意すること。	・注射の都度、新しい注射針を使用すること。再使用しないこと。 ・注射部位は毎回少しずつ変更すること。 2) その他の注意 ・本品の取り扱いについては、患者教育を十分に行うこと。 ・本品は注意深く取り扱い、落としたり衝撃を与えたりしないこと。[故障の原因となる。] 〈相互作用〉(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること) ・併用注意 本品はフォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジ並びにJIS T 3226-2：2005が規定するA型の専用注射針との組み合わせで使用すること。 ※※【貯蔵・保管方法及び使用期間等】 〈保管方法〉 ・必ず注射針を取り外し、注入ボタンを完全に押し切り、保護キャップをかぶせ、保管用ペンケースに入れて保管すること。 ・清潔な場所に保管すること。 ・小児の手の届かない場所に保管すること。 ・使用中の本品（フォリスチム®注300IU、同注600IU又は同注900IUカートリッジを取り付けたもの）は、冷蔵庫内又は室温の安全な場所に保管すること。また、以下の場所での保管は避けること。[故障の原因となる。] (1) 直射日光のあたる場所 (2) 極端に低温になる場所（凍結しないよう注意すること。） (3) 極端に高温になる場所 ・注射針を取り付けたまま保管しないこと。[薬液の汚染、液漏れ、空気の混入の原因となる。] 〈耐用期間〉 使用開始から2年間 [当社データによる。]
---	--



MSD

MSD 株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
ホームページ <http://www.msd.co.jp>

製品情報お問い合わせ先

MSD カスタマーサポートセンター

医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961

＜受付時間＞9:00～18:00（土日祝日・当社休日を除く）